

# ふかうら

No.81

3 2025年  
月定例会

令和7年5月30日発行

## 議会だより



深浦町は、旧深浦町と旧岩崎村が合併し、平成17年3月31日に誕生。  
令和7年3月31日で合併20周年を迎えます。

新町長の新年度予算 (令和7年度一般会計) ▶ 2

新年度予算審査！ 特別委員会がチェック ▶ 4

わが町のここが聞きたい！ 一般質問 5人が質す ▶ 9

深浦町議会チャンネル

検索



ホームページ: <https://www.town.fukaura.lg.jp/categories/bunya/gikai/>

に創る地域へ」

いざ  
始動!



令和7年度 一般会計予算

歳出の主なもの

予算に関する特別委員会で令和7年度予算案を慎重に審議しました。  
その中の一般会計歳出の主なものを御紹介します。  
(P4～7に関連記事)  
金額は千円単位を四捨五入しています。

3億  
642  
万円



旧岩崎小学校解体工事

平沢新町政

子どもや子育て世帯への包括的な支援が深浦町発展の礎(いしずえ)になるとの考えの下、子育て・教育サービスの充実、いじめ対策や不登校対策、ヤングケアラーの支援など、子どもたちの学びの保障、成長を育む取組を推進して参ります。(第136回臨時会での就任あいさつより)



# 新の新 町長 年度予算

議会は令和7年度予算を賛成総数で可決。

町はどこにお金をかけ、何を指そうとしているのか。

平沢新町政が掲げた8つの挑戦・施策

「子ども中心のまちづくりへの挑戦」 「高齢者が元気になるまちづくりへの挑戦」

「スポーツや芸術・文化が活気づくまづくりへの挑戦」

「各産業が元気になるまちづくりへの挑戦」 「防災のまちづくりへの挑戦」

「障がい者・ひきこもり対策への挑戦」 「定住・移住・空き家対策促進への挑戦」

「活力あるまちづくりへの挑戦」を着実に進めるべく予算。

新時代の到来を目指し、町民のお金をどう配分していくべきか……。

深浦町議会は、町民の皆さんと一緒に考えていきます。

予算の詳細は広報ふかうら4月号



当初予算の概要



当初予算の主な事業

# 「ふかうらまち新時代への挑戦!みんなと共

令和7年度 一般会計予算 78億3900万円 (前年比0.4%減)



3603  
万円

嶋田教員住宅改修・  
解体(森山地区)



1億  
1100  
万円

岩崎トンネル落石防止  
対策工事(森山地区)



3143  
万円

(仮称)深浦町生涯学習セ  
ンター整備費(深浦校舎)

## ◆主な歳入

区分	当初予算額	対前年度 増減率
町税 ・町民税 ・固定資産税	8億7545万円 1億9489万円 5億9745万円	28.7%増 5.7%増 45.3%増
地方交付税	37億円	0.3%増
町債(借金)	9億700万円	13.4%減

**質疑** 年収160万円以下の方が所得税ゼロなるようだが、該当する人数と収入の状況はどうなるのか。(八木史議員)

**住民税** 令和5年度の住民税を基に試算すると、町の給与所得者70人から80人くらいが該当し、約900万円の減収が見込まれる。



1755  
万円

町村合併20周年記念事業

## 議会の「まなぐ」

子ども家庭庁が創設され、国の少子化対策も本腰に。

独自の子育て支援策による自治体間競争も過熱し、住民が「子育てしたい町」を選ぶ時代。

コロナ禍で加速したと言われる「妊娠控え」もあり「少子化」の歯止めはかからない。

少子化元年、礎をどう築くのか期待したい。

# 新年度予算審査!

令和7年度歳入歳出予算・  
令和6年度補正予算などを審議

ここを  
チェック

## 予算に関する特別委員会



副委員長  
福沢 秀己



委員長  
藤田 一則

予算に関する特別委員会は、令和7年度当初予算関係議案8件、令和6年度補正予算関係議案6件、条例関係議案14件、工事の請負契約の一部変更の件2件、財産の無償譲渡の件1件、合わせて31件について審査をした。審査過程においては、各般にわたり多くの質疑があり、十二分な論議がなされたので、その中からいくつかお知らせします。

## 質疑応答

### 【栽培漁業振興対策】

ウニ生息環境  
調査の内容は



**問** 齊藤委員  
今年、ウニの生息環境調査を実施するようだが、調査内容は。

### 【山本農林水産課長】

漁獲量が減ってきたウニの生息を調べるため、水深15、25、35メートルの海底を調査する。ウニは26度ぐらいの水温で変死率が高まると言われている。去年の8月に、海面水温が26度を超えていた。もし深場にウニが生息していれば、今後の漁法も変わってくる。



### 【問】 齊藤委員

予算額5250万9千円の老人保護措置事業費の内訳は。

### 【答】 赤石福祉課長

岩崎地区のデイサービスセンター（白寿の郷）のお風呂用ボイラーが、老朽化により、デイサービス事業ができなく

なるおそれがあるため、ボイラー室改修工事として3200万円。また、生活環境や経済的に困窮した高齢者65歳以上を擁護し社会復帰させるための施設入所措置に795万9千円。

### 【がん補整具助成】

今までの  
助成実績は



**問** 七戸均委員  
がん患者補整具購入費に対し、今までの助成した実績は。また、日本人の2人に1人が、がんにかかる時代、町では統計を取っているのか。

### 【答】 八木橋健康推進課長

今時点での実績として2人いた。また、令和5年度の統計では、男性15人、女性13人ががんで亡くなっている。



ワクワクし活気と希望があふれる深浦町」実現へ!  
に質問、意見、要望



**問** 七戸均委員

深浦の基幹産業である農業、水産業が非常に厳しい状況にある。地球温暖化、あるいは高齢化の問題等々と思う。これから何か明るい兆しはあるのか。

**答** 山本農林水産課長

農業は、担い手への農地の集積、集約化を図り、個人個人の生産性を上げる。そのためには、基盤整備が必要かと思う。風合瀬地区で整備したが、今後、是非やりたいという地区があつたら、県とも調整しながら実現していきたい。漁業も高齢化で厳しい。農業者ほどの減少が著しいというわけではないが、大きい漁礁や藻場の整備は県が行っている。資源の回復に向けて、ウニ、ナマコの増殖に力を入れていきたい。また、人手不足が著しいのであれば、全国に人を求めるしかない。

**【深浦ねぶた運行】  
継続事業として  
考えては**

**問** 工藤委員・今委員

深浦ねぶた運行を実施するのか。今年度1回限りの復活



このことだが、継続事業として考えてはどうか。

**答** 松沢総務課長

合併20周年記念事業として、今年の8月に何日運行できるか未定だが、ねぶたの運行を計画している。私も継続できればという思いはある。今現在では、1度の運行と考えている。ただ、有志の方々の意気込みがあるのであれば、町としても検討していきたい。



**問** 工藤委員

ウエスパ椿山に植栽や散策など再整備するなどできると思うが、どう考えているのか。

**答** 神林観光課長

ウエスパ椿山を閉めるに当たって3か年の植栽計画を立てた。今年度2年目。ウエスパ椿山駅の上側のエリアに、花やヤマモミジ、アジサイ等々を植える予定。

**問** 工藤委員

旧ウエスパ椿山のレストラ

ンの解体を一時保留ということだが、町長は将来どのようになりたいのか。

**答** 平沢町長

町民の税金等で整備したウエスパ椿山を、やめたのは非常にもつたない。住民に対しても失礼。私の構想では、林業と観光のコラボができるかなど、新年度から協議会を立ち上げて、何が適しているのか、有効活用していきたい。



**【地域公共交通対策】  
深浦タクシーが  
廃業するのか**

**問** 今委員・八木委員

深浦タクシーが廃業すると



の噂だが、町としてはどんなものか。観光面からの考えは。

**答** 黄金崎総合戦略課長

これまで買い物や通院、観光客が利用していたと思う。町が直接運営する方法もある。公共交通の会議の中で今後、協議していく必要がある。しばらく時間をいたいただきたい。



**問** 今委員

ふかうら文学館と歴史民俗資料館は、いつ(仮称)生涯学習センター(旧木造高校深浦校舎)へ引越すするのか。

**答** 小野教育課長

(仮称)生涯学習センター整備事業は、今年度、基本設計を、来年度は、実施設計を実施したい。改修工事を、令和8年度に実施する、令和9年度にふかうら文学館、歴史民俗資料館の資料を移設、展示のため10月頃まで開館準備を考えている。

**新町長が目指す町の将来像**

**「誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う、  
町民の声を背に、11人の委員が町**



# 【大規模山林火災】派遣したのか、対応は



**問** 岩根委員・工藤委員

岩手県大船渡市の大規模山林火災へ鰐ヶ沢地区消防事務組合からも派遣したのか。深浦であのような大規模な火災だと対応しきれないのでは。

**答** 松沢総務課長

第4次隊と第5次隊で、それぞれ5人体制で派遣されている。

**答** 山本農林水産課長

広報で山火事防止の周知をしている。また4月には防災無線でも周知したい。



**問** 岩根委員

古い集会施設のトイレの水洗化は。簡易水洗トイレではなく。

**答** 鶴田財政課長

集会施設が30施設ある。その中で洋式化も随時行ってきた。今年度で全ての集会施設が洋式化トイレに、少なくとも

も男女とも1つは整備した。下水道処理区域の全ての集会施設は接続している。おおむね簡易水洗トイレがほとんど。浄化槽設置は、経費負担も相ながかるので、財政負担を見ながら検討していきたい。

**問** 岩根委員

令和4年、5年の豪雨で十二湖の遊歩道などの状況は。

**答** 神林観光課長

十二湖リフレッシュ村へ行く車道を、現在、施工中で今月終わる。また、日暮の池から日本キャニオンに下る遊歩道が大規模に崩落し、直しようがない状態。日本キャニオンの展望所へ迂回路のため森林管理署に手続をした。また、王池も2か所大きく崩落しており、遊歩道では2か所を通行止めしている。

## 【ごみ袋の極小化】

極小のごみ袋作れないか



**問** 岩谷委員・大川委員

核家族化、高齢化、一人世帯が増えてきて、一番小さいごみ袋でも大きすぎる。一回り、二回り小さいごみ袋を作

ることは可能か。生ごみだけに特化すれば、印字はいらず地区名と名前だけあれば対応できるのでは。

**答** 熊谷町民課

鰐ヶ沢町で3月から店頭で販売を開始した。鰐ヶ沢町を参考に、可能であれば極小のごみ袋を作るよう検討したい。



**問** 岩谷委員

北金ヶ沢地区漁業集落道整備で、令和7年度は踏切の改良をするが、漁業集落道路が完成するまで、後何年ぐらいかかるのか。

**答** 堀内建設水道課長

令和7年度で事業終了と見込みである。

**問** 岩谷委員・七戸仁委員

白神海彦山彦館は、今現在も使用、運営しているのか。休館中の維持管理費は。解体の対象にして、展望台など跡地を活用してはどうか。また、活用も考えてほしい。

**答** 神林観光課長

現在休館中。海彦山彦館は、新山村振興等農林水産事業で整備した。解体となれば、補助金の返還等々が課題になっている。



**問** 岩谷委員

アオーネでイルミネーションをやって、かなりの人出があったと聞いている。ただ、若干子供連れには不評であった。散策だけではなく、子供が遊べるすべり台や親子が一緒に楽しめる工夫が欲しい。土日で構わないので、そこにキッチンカーを呼ぶなど検討はしたか。

**答** 神林観光課長

提案を考慮して、検討したい。

## 【合併20周年記念】

さかなクンのお魚教室とは

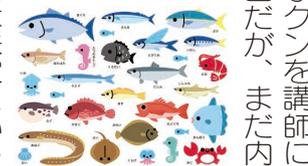


**問** 大川委員

合併20周年記念事業で「さかなクン」に学ばお魚教室事業費があるが、事業内容は。

**答** 山本農林水産課長

11月にさかなクンを講師に講演をする計画だが、まだ内諾は取れていない。受付が4か月前でないといけない。スケジュールの兼ね合い等で、計画は未定ということだが、一応はやる計画をしている。



**問** 大川委員

今冬は、悪天候が続いて、10日時化て1日出ればまた1週間休むといった状態がずっと1月、2月まで続いた。漁業者はもちろん、漁協の経営も、箱も氷も売れない。是非令和3年度の米価下落で農家に支援したように財政支援をしていただきたい。

**答** 山本農林水産課長

漁師の生活支援、あるいは事業継続の面でも、今後必要になると思う。重々内部で検討をするが、まずは自己防衛を。漁協も苦しいと各組合長からも聞いている。非常に大きな課題だと思っている。今すぐには、答えは出ないが、注視していく。

## 【空家等対策】

### マニフェストの 確認は

**問** 福沢委員

空家等解体補助金として、上限30万を交付しているが、解体した時に出る廃材に関して、業者からのマニフェストの確認や管理はしているのか。町では、どのようにチェックしているのか。



**答** 松沢総務課長

町では、そこまで管理していない。解体業者は、関係法令に準じて対応していると認識している。補助金の交付要綱により、着工前、着工後の写真、所有者がしっかりとその請求に基づいて支払った証拠書類など、管理している。



## 【国道の案内標識】

### 4分の1 剥がれている

**問** 七戸仁委員

国道101号、秋田県との県境及びいわさき小学校斜め



向かいの大きい案内標識の4分の1が剥がれている。県に連絡して対応してほしい。



**答** 堀内建設水道課長

県に連絡をした。どちらも県鰯ヶ沢道路河川事務所の管理で修繕の時期などは、別途回答のことで、しばらく時間をいただきたいとのこと。

## 【店舗貸付物件】

### 応募申込みの 状況は

**問** 八木委員

ラーメン101（当時）の店舗貸付募集について、広報お知らせ版や東奥日報に掲載された。応募申込みの状況は、ラーメン101は継続するか。



**答** 鶴田財政課長

応募は2件。ただ今その内容を確認しながら、事業者を決定していききたい。ラーメン101を継続する形の募集で

はない。店舗を利活用する事業者を募集しているので、ラーメン101の継続と決まっているものではない。



**問** 八木委員

旧岩崎小学校や観光施設、教員住宅の解体、合わせて2億8800万、交付税算入の無い一般単独債が計上された。今後も公共施設の解体は順次進めていくのか。

**答** 鶴田財政課長

以前は、活用できる起債がなく、財源の確保に難航して解体ができなかった施設が多数ある。ただし今後、交付税算入の起債が新設されたので、危険性を第一に考慮し、計画的に解体を進める方針としている。

**問** 八木委員

何回も話しているが、道路の白線。特に、停止線が消えている。所管が県と公安委員会とのことだが、繰り返し繰り返し、公安委員会等に要望していただきたい。

**答** 堀内建設水道課長

昨年の6月定例会後に、直ちに公安委員会へ要望書、県の鰯ヶ沢道路河川事務所には電話でお願いした。公安委員会では8月9日の段階で15か所の横断歩道と一時停止の標示を塗り直すとの文書があった。県は、船作から横磯区間のほか、新しく引き直したと認識している。引き続き要望を続けていく。



**問** 八木委員

毎月、高額療養費制度を必要とする患者等は、どの程度いるのか。

**答** 赤石福祉課長

令和6年1月から12月診療分まで1年間で高額療養費が該当した世帯数は393世帯、このうち4回以上の多数世帯が、全体の37パーセントの146世帯。

**問** 八木委員

昨年も話したが、脳卒中や脳腫瘍などの病気を早期発見できる脳ドックに対する助成制度が国保にはない。弘前市

やつがる市では、独自に助成を行っている。是非、深浦町でも実施していただきたい。

**答** 赤石福祉課長

国民健康保険事業で脳ドックの受診助成を行っている市町村は、県内40市町村のうち14市町村。深浦町で助成事業を行う場合には、適正な助成額、対象条件などを協議しながら検討していく。

**答** 八木橋健康推進課長

当初予算編成で脳ドックについて検討したが、新規事業や予防接種の予算増額など優先順位を考えた中で、今回は見送りとなったが、関係課で再度検討していきたい。

## 脳血管疾患



# 深浦町議会 第137回定例会



▲提案した議案の概要を説明する  
平沢町長

第137回定例会は、3月7日から14日までの8日間の会期で開催しました。  
一般質問では5人の議員が登壇し、新町長に町政運営の課題を質（た）しました。  
また、本定例会では、令和7年度当初予算関係議案8件、令和6年度補正予算関係議案6件、条例関係議案14件、工事の請負契約の一部変更の件2件、財産の無償譲渡の件1件、議会運営委員長提案2件が提出され、審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

3/7  
(金)

・全議案一括上程  
・提案理由の説明



提案理由等の動画  
が視聴できます。

3/8  
(土)

3/9  
(日)

・休会

3/10  
(月)

・一般質問



七戸 仁



岩谷 司



今 勝吉



大高 恒藏



八木 史

3/10  
(月)

3/12  
(水)

・予算に関する特別委員会



委員長 藤田 一則



副委員長 福沢 秀己

## 議会録画配信

インターネット配信サービス  
YouTube(ユーチューブ)で録画  
配信を開始しました。  
各ページのQRコードから  
アクセスできます。



YouTube「深浦町議会チャンネル」

3/13  
(木)

・休会

3/14  
(金)

・議案審議、採決

# わが町の ここが聞きたい

第137回定例会

## 一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

自神岳・十二湖に対する思いは

七戸 仁議員



公約は新年度予算のどこに

岩谷 司議員



上下水道管等の耐震化率は

今 勝吉議員



職務専念義務違反の処分や罰則は

大高恒藏議員



修学支援資金 給付型への見直しは

八木 史議員



保全・環境保護

白神岳・十二湖に  
対する思いは

問

答 保全と活用を進めていく

つぶやき

故郷への熱い思い。  
深浦新時代の風が  
議場に



質問者の動画が  
視聴できます。

しちのへ  
七戸

ひとし  
仁 議員



Sold exclusively in this store

ここでしか買えません

只在这里才能买到

여기에서만 구매 가능

問 七戸議員

白神岳・十二湖の保全と活  
用に対する町長の思いは。

答 町長

白神岳や十二湖は、悠久の  
自然に育まれた深浦町の誇る  
べき財産。子供たちに、その  
美しさや大切さを実感させる  
ことが私たちの責務であり、  
保全と環境保護、更には活用  
への意識醸成につながると信  
じている。  
今後、白神山、十二湖の  
保全と活用を進めていく。

インバウンド観光客対策

十二湖、外国人に  
配慮した標識に

『順次更新を検討する』

問 七戸議員

十二湖地内の標識を外国人  
観光客に配慮した英語、韓国  
語及び中国語も表記すべきと  
思うが。

答 町長

外国人観光客に対応するた  
め、スマートフォンや二次元  
バーコード（QRコード）を  
活用した翻訳ガイドの導入を  
検討する必要がある。また、  
この度、日本語、英語、中国  
語の3か国語で十二湖を紹介  
するマンガ版のガイドブック  
を作った。標識については、  
QRコードを始めとしたDX  
技術を活用したものに順次更  
新していくことを検討する。



つばやき  
職員の勤務環境も時代にマッチを

公約・新年度予算

問 公約は新年度予算のどこに

答 子供たちが集う施設整備  
椿山旧レストラン利活用探る

いわや 岩谷  
つかさ 司 議員



質問者の動画が視聴できます。

問 岩谷議員  
①町長の8つの公約で、新年度予算に組み込んだ公約は。  
②町役場の機構改革は、どうしようとしているか。

答 町長  
①公約の一番に掲げた「子ども中心のまちづくり」として、令和7年度に入タートする（仮称）深浦町生涯学習センター（旧木造高校深浦校舎利活用）を整備し、子供たちが集い遊ぶことのできる施設として、保護者同士が情報交換できる機能や保健センターとの連携で、多世代交流促進エリアとして再構築したい。また、ウエスパ椿山旧レストラン解体の予定と説明を受けたが、一旦立ち止まって利活用の可能性を探りたい。今後、政策テーマごとに議論を重ね、公約実現の歩みを進めていきたい。  
②機構改革は、政策実現の手段の一つ。子ども家庭センターの設置、DX、外国人労働者の受入れ、といった新たな政策に対応する組織のあり方を検討している。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用して、生活や業務を変革すること。

労働者の健康管理  
労働基準法どおり  
休憩時間は  
『労働基準法の  
基準下回らない』

問 岩谷議員  
①労働基準法の定めどおり、労働時間による休憩は守られているか。  
②役場では、決まった時間に休憩が取れない係がある。その場合、休憩が柔軟に取れているか。

答 町長  
①②条例に決まりがあり、休憩時間は、労働基準法の基準を下回らないよう、勤務時間が6時間超の場合、1時間の休憩時間を勤務時間の途中に置くとしている。また、原則、正午から13時までを一斉の休憩時間としているが、同条例で休憩時間を一斉に与えない定めができる。とし、交替で勤務させる場合は、一斉の休憩時間を置かないことができるとしている。  
※条例：深浦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例のこと。



多様な働き方  
フレックスタイム  
制度の導入は  
『県内で導入例ない  
今後、動向を注視』

問 岩谷議員  
フレックスタイム制度の導入は。

答 町長  
県内の市町村では、導入例はないと確認している。今後、近隣自治体の動向を注視していく。  
※フレックスタイム制：一定の期間についてあらかじめ定められた総労働時間があり、その範囲内で日々の始業・終業時刻や働く時間を、労働者自身自由に決めることができる制度。

# 上下水道管等の維持管理

## 上下水道管等の耐震化率は

# 問

つぶやき

水道管の老朽化にはメンテナンスが大事!

# 答

## 耐震基準を満たしている



質問者の動画が視聴できます。

こん  
今

かつよし  
勝吉 議員



問  
今議員

- ① 上下水道管や各施設の耐震化率は。
- ② 下水道の加入率と経費回収率等は。
- ③ 施設の集約化、管理システムの統一の必要性は。
- ④ 老朽化した水道管の維持、更新が財政を圧迫するおそれがあるが更新計画等は。
- ⑤ P F A S検査の実施は。

答  
町長

- ① 上下水道管の耐震化率は、27・3パーセント、下水道管の耐震化率は、17・5パーセント。上下水道施設の耐震化は、全て耐震基準を満たしている。
- ② 下水道の加入率は令和7年2月末現在、全体で42・6パーセント。処理区域ごとの加入率は

・大間越地区	83	・1
・黒崎地区	97	・4
・岩崎・沢辺地区	64	・3
・田野沢地区	54	・1
・北金ヶ沢地区	10	・9

パーセント

経費回収率は、令和4年度では22・0パーセント、令和5年度では17・6パーセント。取組として、下水道加入率向上のためリフォーム補助金のうち、下水道接続工事の補助率及び補助上限額を拡大したとともに、職員による処理場の保守点検を実施している。

③ 県水道事業広域連携推進西北地区会議で同様の内容を検討したが、自治体間の管路接続や管理システムの共同化費用が多額な一方、その効果が限定されることから、現時点では集約化を進める環境にないとの意見で一致している。



④ 水道管の多くは、法定耐用年数25年程度の硬質塩化ビニル管を敷設している。しかし、敷設替の際は、耐用年数が長いダクタイル鋳鉄管に更新している。

⑤ 県から令和7年度中に最低1回以上のPFAS(ペーファス)検査を、水道施設ごとに行うよう指導があった。なお、検査費用は、水道料金収入を充てるが、直ちに水道料金を値上げしない。

※1 PFAS(ペーファス)：炭素やフッ素が結びついた有機フッ素化合物の総称。フライパンのフッ素加工やレインコートの撥水加工、泡消火剤などが代表例。

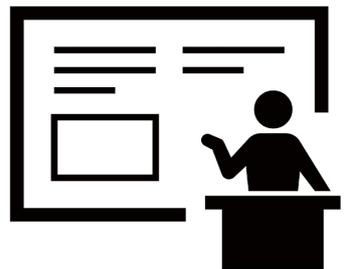
※2 経費回収率：汚水処理に要する費用をどの程度下水道使用料で賄えているかを示す指標。



教育格差の解消  
**教育格差に  
 どう対応すべきか**

『学校教育で  
 取り組んでいる』

**問 今議員**  
 ①都市部と地方の教育格差が大きい。子供たちに情操教育が必要と思うが、どう対応すべきか。  
 ②本町出身などの方の講演、近隣高校に吹奏楽等を依頼する考えは。



**答 町長**  
 ①②学校教育では、各教科のカリキュラムや授業で、相手を思いやる気持ちや命の大切さ等、情操を育むための教育に取り組んでいる。また、小中学校では、毎年、芸術鑑賞教室を開催している。町の社会教育事業も、内容を更に充実していきたい。

道路交通の確保  
**今冬の大雪  
 町民の苦情等は**

『約70件の苦情』

**問 今議員**  
 ①今冬の大雪による、町民からの苦情や要望等の状況は。  
 ②除排雪業務の委託料は、シーズン定額制か、出勤回数による出来払か。



**答 町長**  
 ①除雪が不十分、雪の塊かたまりを家の前に置いていく等の苦情が約70件あった。  
 ②待機補償があるシーズン定額制と、出勤時間に対応した出来高払の併用制としている。来季も同じに継続する。



**スマートフォンなどで手軽に一般質問などの録画映像がご覧になれます!**

議会だより内に掲載しておりますQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問や町長の提案理由の説明、採決の様子の動画が視聴できます。ぜひ、ご視聴ください。  
 ただし、QRコードを読み取るためにはアプリが必要です。インストールされていない場合は、インストール後にご利用ください。  
 ※QRコードとは、今やいたる所で見かけるようになった四角い白黒の点で構成されたマークで、読み取れば簡単にいろんな情報を知ることができます。

**議会録画配信**  
 YouTube (ユーチューブ) で録画配信を行っております。



YouTube  
 「深浦町議会  
 チャンネル」

職員の服務規律

職務専念義務違反の  
処分や罰則は

つぶやき

町民第一、  
新町長の対応に  
期待する!

問

答

口頭注意、訓告、  
懲戒処分が想定



質問者の動画が  
視聴できます。

おおたか  
大高

つねぞう  
恒藏 議員



問 町長  
国の指針等に基づき、軽微な職務専念義務違反については口頭注意や訓告とし、軽微とはいえない違反に対しては懲戒処分である戒告等とすることが想定される。

問 大高議員  
職員が勤務時間中に、職場を離れるのは職務専念義務に違反する行為と思うが、処分や罰則は。

問 町長  
ふるさと納税の仕組みなどを町民に周知し、友人や知人にパンフレットを送付することで、より多くの人にふるさと納税の魅力を伝えることができると思うので、今後も町の広報やホームページを通じて周知したい。

『より多くの人に  
今後も周知したい』

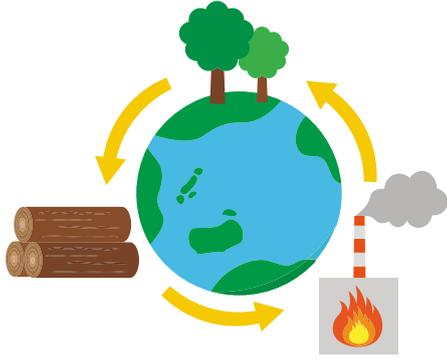
ふるさと納税対策  
魅力ある返礼品を  
町民にパンフレット  
送るように



問 町長  
ウエスパ椿山温泉は、以前新たな温泉施設の整備費やランニングコスト等を検討したところ、当時（令和5年度当初）で約1億5000万円以上、ランニングコスト（人件費除く。）は年間約240万円と試算された。また、「ゆとり」も、廃止の要因となつた多額の維持経費を入浴料以外の町予算から持ち出している状況の改善策として、木質バイオマス燃料の利用を検討したが、改修又は新築でも、設計監理費を加えるとおおむね4億円の投資が必要となり、更に、維持管理にも、木

『必要性、実現可能性を  
多角的な視点で検討』

温泉の利活用  
椿山温泉で事業を  
バイオマスで  
小規模浴場



質バイオマス発電に必要な原料調達に係るコストに大きな課題があると指摘があった。こうした経緯を踏まえつつ、ウエスバ椿山温泉の利活用については、エリア内にある他の施設も含め、再検討する必要があると考えている。新たなハード整備には、特にランニングコストに留意し、将来世代に負担を強いることがないような意識を持つ必要がある。その上で、温泉施設の整備には、その必要性や実現可能性を多角的な視点から検討していく。

一次産業への支援  
**畑作、漁業の状況は  
 資材等高騰、支援は**

**『不作、高値、水揚低調  
 補助金の交付処理中』**

**問 大高議員**

① 令和4年度及び5年度と比較して今年度の畑作と漁業の状況は。  
 ② 資材等の高騰により一次産業も相当厳しい状況にある。国の支援制度や町独自給付金交付などの考えは。また、漁業及び農業共済制度の加入状況は。

**答 町長**

① つがるにしきた農協深浦事業所の1年間（1月から12月まで）の集計による野菜全体の出荷数量及び販売金額は  
 ・ 令和4年 351トンで1億2000万円  
 ・ 令和5年 323トンで1億3600万円  
 ・ 令和6年 340トンで1億4600万円  
 野菜価格は市況によって決定される。令和5年は記



録的猛暑により全国的に不作傾向だったこと、令和6年は物価高騰の影響で全般的に高値になったと考えられる。  
 漁業においては、海面漁業調査より引用して、1月から12月までの取りまとめで、その漁獲数量及び漁獲金額は  
 ・ 令和4年 4782トンで19億7200万円  
 ・ 令和5年 4167トンで19億5200万円  
 ・ 令和6年 4218トンで18億2700万円  
 漁獲数量が漁獲金額の増減に色濃く反映され、令和6年はブリ、マグロなどの主要魚種全般が低調だったことに加えて、サケ、ハタ



ハタが過去最低レベルの水揚げとなったことで、漁獲数量は前年比1.2パーセント増となった一方、漁獲金額は6.4パーセントの減となっている。  
 ② 1月31日開催の議会臨時会において、物価高騰対策にかかる補正予算が可決され、農業、林業、畜産業、水産業における電気料金、燃料代、配合飼料価格の高騰に対する補助金を交付する事務を進めている。  
 農業共済の加入状況（令和6年度）は、水稲共済61人、収入保険10人、営農計画書提出者を基に算出した割合はおよそ58パーセント、野菜・花き価格安定事業は、主たる野菜であるトマトと



ネギにおいて、全ての生産者が加入している。また、漁業共済については、漁獲共済の加入率を漁業種類ごとに大型定置網、いか釣り、はえ縄、沖合底引き網及び樺受網加入率100パーセント  
 ・ 底建網95.5パーセント  
 ・ 小型定置網79.4パーセント  
 ・ 刺網32.9パーセント  
 ・ 磯回り18.9パーセント  
 なお、漁獲共済に加入している漁業者は、より手厚い補償の「積立ぶらす」にも乗せ加入しているので、多くの漁業者が収入減少リスクに備えているものと思っている。

公約、8つの挑戦・施策

修学支援資金  
給付型への見直しは

つぶやき

今回は空洞化する  
商店街の再成を  
聞きたい



答

考えていない  
減免、補助を検討



質問者の動画が  
視聴できます。

やぎ  
八木

ふみと  
史 議員

問  
八木議員

町長選挙で8つの挑戦・施策に取り組みと訴えてきたが、今回は次の3つの具体的な取組を伺う。

①「子ども中心のまちづくりへの挑戦」

(1) 深浦町高等教育修学支援資金を一定条件のもと、貸与型から給付型へ見直すのか。

(2) 遊び場の整備とは。

②「障がい者・ひきこもり対策への挑戦」

どの部署で担当し、どの様に進めていくのか。

③「定住・移住・空き家対策促進への挑戦」

プロジェクトチームを立ち上げ、地域の活性化を図るとのことだが、具体的な取組は。

答  
町長

①条件設定や採択基準を含めた平等性の確保が課題となるので、給付型の導入は、考えていない。なお、人口減少対策や若者定住促進の施策として、町への居住などの一定条件のもとで、償還金を減免、あるいは、償還金を補助

するなど、他の自治体の導入状況等を踏まえ検討していきたい。

令和7年度にスタートする（仮称）深浦町生涯学習センター整備（旧木造高校深浦校舎利活用）で、子供たちの遊び場を整備したい。更にエリア内には、子育て世帯が交流できるベンチや休憩スペースを設けたい。



②事務は、福祉課が担当。二

ーズ調査を基に、個人個人の障がいの程度等に配慮し、社会とつながりを持てるような事業を展開していきたい。

③地域住民や専門家、行政職員などをメンバーにした

政策実現のプロセス

政策実現に

組織再編等が

必要では

『7年度は調査・検討

8年度に組織再編したい』

問  
八木議員

町長が推進しようとする政策をスピード感をもって実現するためには組織機構の再編、刷新が必要と思われるが、新年度に向けて実施するのか。

答  
町長

令和7年度に政策テーマごとに必要な調査や検討、関係機関との協議・調整を行った。令和7年4月の組織再編

# わが町のここが聞きたい

は予定していないが、令和8年度には、組織再編を提案したい。

障害者雇用促進

**障害者雇用2・8%**  
**今後の採用計画は**

『法定雇用率2・17%  
募集等に取り組む』

**問 八木議員**

障害者雇用促進法で、地方公共団体の法定雇用率は2・8パーセントだが、現在の深浦町における障害者雇用的人数は、今後の採用計画は。

**答 町長**

本町の障害者雇用者数は、実数で4人、障害の程度を勘案した調整値は5人、職員総数に対する雇用率は2・17パーセント。  
法定雇用率の2・8パーセントを達成するためには、現状プラス1・44人、合わせて6・44人の障害者を雇用する必要がある。今後の採用計画としては、会計年度任用職員としての募集活動を行うとともに、障害者就業・生



けていくのか。

**答 町長**

地方創生2・0は、地域の活性化を超え、日本全体の活力を取り戻すための重要な政策で、私たち深浦町においてもその意義は非常に大きい。しかしながら、財源の確保や人材不足、地域住民の意識改革など、多くの課題が存在する。

活支援センターから、就労希望者情報を得るなど、法定雇用率の達成に取り組んでいく。

地方創生への取組

**地方創生2・0**  
**具体的な取組は**

『総合的かつ戦略的な  
アプローチで取り組む』

**問 八木議員**

広報ふかうら1月号に「国が掲げる方針を的確に把握し、深浦町にふさわしい地方創生の取組に果敢に挑戦して行く」新たな地方創生（「地方創生2・0」）と町長が述べているが、まず何から手を付

まず、財源の確保については、地方創生に向けた施策を進めるには、国や県からの支援が不可欠。地方創生関連の補助金や助成金を積極的に活用し、地域の特性に適応したプロジェクトを提案していく。

人材不足には、地域内での人材育成プログラムを充実させることが必要。若者や女性が働きやすい環境を整備し、地域での就業機会を増やすための施策を講じることが重要。更に、地域外からの人材誘致や移住促進施策により、新たな人材を地域に呼び込むことが期待できる。

地域住民の意識改革には、地域全体での情報共有と参加型の取組が鍵となる。地域住民が自らの地域に誇りを持ち、

積極的に関与するためには、地域イベントやワークショップを通じて意見交換やアイデアを出し合う場を設けることが効果的だと考えられる。このような視点から、本町としては総合的かつ戦略的なアプローチで地方創生2・0に取り組んでいく。



※地方創生2・0の「基本的な考え」

インバウンド

**今冬のインバウンド**  
**冬の十二湖の状況は**

『来季、モンベル社と  
イベント開催へ』

**問 八木議員**

今冬のインバウンドに対する十二湖観光の取組状況等は。

**答 町長**

冬期限定の十二湖を地元力イドと歩く「十二湖スノーハイク」を実施した。12月から

2月末までで、33人の外国人の参加があった。また、イグルー体験、いわゆるかまくら製作の体験も実施したが、外国人の参加は無かった。  
来季に向けて現在、アウトドア用品メーカーのモンベル社と、十二湖でのスノーシューハイキングの開催について協議を進めている。



# 第137回定例会 上程議案と採決状況一覧

上程議案・概要・結果 ※○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長（斉藤登）は採決に加わらない。	結果	八木史	七戸仁	福沢秀己	大川清光	岩谷司	岩根環	今勝吉	大高恒藏	藤田一則	工藤博利	七戸均	斉藤登
<b>令和7年度当初予算議案</b>													
議案第1号 一般会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号～議案第8号 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、訪問看護ステーション特別会計、財産区特別会計、水道事業会計、下水道事業会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>令和6年度 補正予算議案</b>													
議案第9号 一般会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号～議案第14号 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>条例に関する議案</b>													
議案第15号 深浦町職員の給与に関する条例の一部改正 給料月額及び諸手当の額の改定等及び、刑法等の一部改正より、懲役及び禁錮を廃止し、新たに拘禁刑を創設するなどの改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第16号 深浦町上下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 町職員の給与に関する条例の一部改正に併せて扶養手当の支給対象等を改定し、定年前再任用短時間勤務職員等に住居手当等を支給するほかを改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第17号 深浦町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正 町職員の給与に関する条例の一部改正に併せての改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号 深浦町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 県の取扱いに準じて、会計年度任用職員の勤務1時間当たりの報酬額の算出方法を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第19号 深浦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 育児・介護休業法の一部を改正に伴い、職員の時間外勤務の免除の対象となる養育する子の範囲拡大に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号 深浦町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 町職員の給与に関する条例の一部改正に併せて、部分休業をしている職員の給与の減額の計算方法について改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号 深浦町職員等の旅費に関する条例の一部改正 国家公務員等の旅費に関する法律の改正及び誤植の訂正に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第22号 深浦町外国語指導員等の報酬及び費用弁償に関する条の一部改正 近年の社会情勢を踏まえ、国がJETプログラム参加者の待遇改善することに伴う報酬額を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号 深浦町特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 特別職非常勤職員の農業委員会委員及び農業委員会農地利用最適化推進委員の報酬額を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号 深浦町消防団条例の一部改正 消防団員の出勤報酬等を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号 深浦町基金条例の一部改正 ふるさと納税寄附金基金及び白神岳避難小屋ネーミングライツ基金の有効活用に資するため、その他の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号 深浦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号 深浦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準並びに家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号 深浦町町営牧場条例の一部改正 町営長慶平牧場の用途廃止に伴い、当該施設を条文から削除	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>その他の議案</b>													
議案第29号 工事請負契約の一部変更 黄金崎川災害防除工事 請負代金167,530,000円から54,329,000円を減額して113,201,000円に変更 請負業者 (株)三浦建設	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号 工事請負契約の一部変更 深浦町(風合瀬)地区漁村整備工事 請負代金89,100,000円に6,771,600円を増額して95,871,600円に変更 請負業者 山大機電(株)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号 財産の無償譲渡 町の光ケーブル(町全域)を東日本電信電話(株)宮城事業部へ無償譲渡することで、人的及び財政負担を軽減し、かつ災害時における柔軟かつ迅速な復旧対応や、継続的かつ安定的なブロードバンドサービスの提供が期待されるため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>発議</b>													
発委第1号 議会の個人情報保護に関する条例の一部改正 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委第2号 議会委員会条例の一部改正 地方自治法の一部改正により、地方議会に係る手続きのオンライン化が可能となることに伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

# 深浦町議会 第138回臨時会

4月25日(金)に開かれた本臨時会では、人事関係議案2件など3議案、専決処分の報告及びその承認を求めるの件7件、以上10件を審議した結果、原案どおり可決・同意・承認しました。

## 人事案件

### 副町長に佐藤 洋一氏を選任



任期満了に伴い、副町長に選任（再任）することに対して、議会の同意を求めたものです。【全員賛成で同意】任期は令和7年5月13日から4年間です。

### 教育委員に中村 真衣子氏を任命



任期満了に伴い、教育委員に任命（再任）することに対して、議会の同意を求めたものです。【全員賛成で同意】任期は令和7年5月14日から4年間です。

本臨時会において、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、選挙の結果、議長の指名推選によって次の方々がそれぞれ当選しました。

### 【選挙管理委員会委員】



吉田 隆



堀内 不二男



第1 鎌田 正規



第2 加藤 守



松井 雅博



松沢 敬



第3 一戸 輝明



第4 岩谷 隆徳



本会議の動画が  
視聴できます

## 永年勤続議員表彰 おめでとうございます

2月27日(木)に青森県町村議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された町議会議員に対して表彰が行われました。令和6年度は、斉藤登議長及び大高恒蔵議員が在職15年以上の全国町村議会議長会表彰を受賞されました。



大高 恒蔵 議員



斉藤 登 議員



題字を  
書いて  
くれた人

ふかうら



横書きがむずかしかった。学校で字を書くことをお願いされるとき、習字をやっていてよかったと思う。町に希望すること…友達と集まれる場所がほしい！今楽しみなこと…漫画の新巻

深浦小学校6年生 <sup>いわむら</sup> 岩村 <sup>さとか</sup> 惺華さん  
(深浦書道教室)

表紙写真  
紹介

菜の花に囲まれて  
春のひととき

今号の表紙は、十二湖駅近くに元気に咲き誇る七戸敏行さん(森山)の菜の花と、立派なフキの葉を手にした女の子の一枚です。春の光に包まれ、自然の中でのびのびと過ごす子どもの姿が印象的です。色鮮やかな菜の花の黄色と、フキの大きな葉が季節の息吹を感じさせてくれます。



### 議会広報編集委員会

委員長 今 勝吉  
副委員長 七戸 仁  
委員 大高恒蔵  
岩谷 司  
大川清光  
福沢秀己  
発行責任者 斉藤 登  
(議長)

### 編集後記

田植えや農作業も順調に進んで、本格的に忙しい季節を迎え、水田では力エルのにぎやかな声が聞こえる毎日となり、また近ごろ、テレビ、ネット上でコメ不足や価格高騰に関する報道を目にする機会が増えました。

代表的な農産物であるコメを今後どのように生産し普及していくか、国としても、一人一人のコメ農家としても、そして消費者としても、「令和のコメ騒動」の教訓として新たな考え方が必要な時期に来ているのではないのでしょうか。

さて、3月定例会では、厳しい財政状況の中で令和7年度の予算を始め条例の改正等、多数の重要な案件を慎重に審議し決定いたしました。

今後とも、議会だよりのご愛読をよろしくお願いいたします。

(福沢 秀己)



発行・深浦町議会 編集・議会広報編集委員会  
〒038-2324 深浦町大字深浦字苗代沢84-2

議会に関するお問い合わせは議会事務局まで  
TEL 74-2111 (代)、74-4418 (直)

「QRコード」はデンソーウェブの登録商標です